

岩手県ユニセフ協会

2021 年度

# 第 2 回 理 事 会

## 議 案 書



© UNICEF/UN0339499/Frank Dejongh

教室で学ぶ子どもたち(アフガニスタン)



子どもの権利条約 30 周年記念 ユニセフ・シアター・シリーズ

「子どもたちの世界」より 『ラジオ・コバニ』

2021 年 7 月 18 日上映

岩手県ユニセフ協会

# プログラム

日 時 2021年10月28日(木) 13:30~15:00

会 場 岩手県自治会館 第2会議室

## 1、開会

## 2、あいさつ

## 3、議長選出

## 4、議事録署名人

## 5、書記任命

## 6、議案の提案

第1号議案 2021年度事業報告・決算見込みの件

第2号議案 2022年度事業計画・収支予算(案)の件

第3号議案 岩手県ユニセフ協会役員に関する件

## 7、その他

## 8、議長解任

## 9、閉会

# 第1号議案 2021年度事業報告・決算見込みの件

ユニセフ（国連児童基金）は、すべての子どもの命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、190の国と地域で活動しています。日本ユニセフ協会は、現在先進国を中心に33の国と地域に設置されているユニセフ協会（国内委員会）の一つです。日本を含む33の先進工業国では、ユニセフ協会（国内委員会）が、自国を含めた世界中の子どもの権利を守るため、ユニセフ本部と連携して、国や企業などへの政策提言（アドボカシー）や支援の輪を広げるための広報・募金活動を行っています。

世界の子どもたちをめぐる状況は、紛争、食糧危機、自然災害の脅威などが子どもたちの命と尊厳を脅かしています。5歳の誕生日を迎えることなく命を落とす子どもは、2019年9月発表で年間520万人と20年前の半数に減少したものの、災害や紛争・不安定な情勢など緊急事態下の国や地域で暮らしている子どもの数は5億3,500万人となり、新型コロナウイルス感染症の流行の影響も重なって、深刻な1年となりました。

2021年度の県協会の活動は、昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響で、中止したものもありましたが、ユニセフ・シアター、ユニセフ出前講座などの活動をすすめました。

個人・団体からのユニセフ募金は8月末現在、24,512,427円です。個人で1,000万円を募金してくださる方が2名おられました。

## 1. 2021年度事業報告

### 1. 岩手県ユニセフ協会の運営

(1) 4月27日 第1回理事会・評議員会、10月28日 第2回理事会

(2) 経費は、日本ユニセフ協会との協力協定および協力協定細則に基づき、運営仮受金702,000円、地域普及仮受金2,670,000円を受け、支出しています。今年は、設立20周年記念のため特別事業仮受金500,000円も加算され、支出しました。

(3) 県協会の活動は、ボランティアスタッフ（登録・盛岡22名 花巻15名）がユニセフ出前講座、イベントへの対応をしました。

日本ユニセフ協会の会議にはオンラインで参加しました。

① 県協会の日常的な運営や企画の具体化を話し合う運営会議（構成：専務理事・常務理事・ボランティアスタッフ）を年5回（8回予定）開催し、活動を円滑にすすめてきました。また花巻友の会は、年3回（5回予定）運営会議を開き運営や活動の交流を深めました。いわて生協ユニセフクラブは独自の活動と、ボランティアスタッフとして一緒に活動しています。

② 諸会議・研修への参加

2月19日 日本ユニセフ協会協定地域組織事務局長会議（オンライン会議）

6月2日 オンライン現地視察ツアー（マリ、マラウィ、ヨルダン）

6月23日 全国地域組織 学習講師研修会（オンライン研修会）

## 2. 募金活動と賛助会員の状況

- (1) 2020<sup>1</sup>年8月末までに寄せられた募金額は、2,451万2,427円です。
- (2) 一般募金と指定募金
- ① 学校では、国際理解講座としてユニセフに取り組み「世界の子どもたちを知り、自分たちができることを見つけよう」と資料・ビデオ学習し、ユニセフ募金に140校が取り組みました。  
(2020年報告 幼・保5、小96、中29、高9、専門・大学1 計140校)
  - ② 花巻友の会は、花巻で3月にユニセフ・パネル展を開催しました。
  - ③ いわて生協は、お店に募金箱を設置して、ファミリー募金、書き損じ・未使用ハガキ回収などを呼びかけています。全国生協指定募金として「コープコアノンスマイルスクールプロジェクト」アンゴラの子どもたちに学校づくり支援と、東ティモール指定募金に取り組んでいます。緊急募金（アフガニスタン人道危機、ハイチ自然災害）にも取り組みました。 400万円
  - ④ 岩手県学校生協では「1万人ユニセフ募金活動」募金、東ティモール指定募金に取り組んでいます。学校生協に届けられた学校児童会・生徒会の募金に対し12校に感謝状を届けました。
  - ⑤ 募金贈呈式を行った団体・学校は、盛岡レオクラブ、盛岡市立松園中学校、花巻市立八重畑小学校です。岩手県立不来方高校音楽部は、声楽アンサンブルコンテスト全国大会3位の賞金を贈呈していただきました。1月、5月に1千万円の高額寄付をいただきました。
  - ⑥ ユニセフハンド・イン・ハンド（全国一斉街頭募金活動）  
今年度のテーマは「すべての子どもの権利が実現される世界を～できることからはじめよう～」ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため街頭募金はできず、支援者の方々に募金のお願いの文書を郵送したり、ファミリーボックスをお配りしたりと昨年と同様の募金活動を計画しています。
- (3) ユニセフ募金箱の設置  
募金箱設置のご協力店・ホテルは花巻8ヶ所、盛岡6ヶ所となっており、年1回募金回収し、日本ユニセフ協会に送金しています。
- (4) ユニセフ会員  
8月末現在、賛助会員 団体4、一般170、学生1で、計175名です。  
会員の高齢化により脱退者が多く、新規加入を強化していきます。

## 3. 広報活動・開発教育に取り組みました。

- (1) 広報活動
- ① ユニセフ視聴覚ライブラリーを地域イベント・出前講座に貸し出しました。
  - ② 日本ユニセフ協会発行の資料を活用しました。
  - ③ ユニセフ写真パネル展・ユニセフ講座等を通して、世界の子どもたちの現状を伝え、ユニセフへの理解と支援を広めてきました。
  - ④ 岩手県ユニセフ協会ニュース2回発行しました。
  - ⑤ ホームページのメンテナンスをしました。
- (2) 開発活動
- ① ユニセフ出前講座は、金ヶ崎町立西小学校、盛岡市立上田小学校、金ヶ崎町立永岡小学校で開催、学校募金贈呈式でもユニセフ活動のお知らせをしています。

②ユニセフボランティアを広めるためのユニセフ講師研修は、6月23日に日本ユニセフ協会によるオンラインで開催され、13名が受講しSDGsを深める内容を学びました。慣れないオンラインによる受講でしたが、SDGsを伝えることの大切さを実感できました。運営会議の後半にボランティアの学習時間を設けました。

③ ユニセフパネル展開催。

長谷部誠大使 ギリシャ難民キャンプ訪問『すべての子どもに、夢を』を開催しました。

2月12～19日 盛岡 教育会館

3月18～22日 花巻 妙圓寺

④ 高校生1名からの問い合わせがあり、事務所にてユニセフ講座を行いました。子どもの医療の格差について学びたいという要望に応じて、世界の子どもたちの現状やユニセフの活動をお知らせしました。

5. 第10回ユニセフ・ラブウォーク in いわて

5月16日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。

6. ユニセフ・シアター 「ラジオ・コバニ」上映。

7月18日、岩手教育会館多目的ホールにて、新型コロナウイルス感染防止に留意して開催し、75名が鑑賞しました。「子どもの権利条約30周年シアター・シリーズ」の1作で、「イスラム国」(IS)からの支配を脱したシリア北部の街コバニを舞台に、大学生のディロバンが、手作りのラジオ局を始め、人々に希望をもたらしていく姿を収めたドキュメンタリー映画です。参加者からは「シリアの人々の生活が身近に感じられ、なおさら戦争の哀しさを強く感じた」「世界に目を向けるととても残酷だと思った。戦争をしてはいけないと思った」などが寄せられました。アンケートに「ボランティアスタッフに興味がある」と答えた方が3名、今後の活動に参加予定です。

## 2021年度 業務日誌

- 1月15日(月) 期末監査
- 1月18日(月) 第1回運営会議
- 1月25日(月) 金ケ崎町立西小学校出前講座
- 2月9日(火) 花巻友の会運営会議
- 2月12日(金) 岩手県国際交流協会団体懇談会
- 2月15日(月) いわて生協ユニセフくらぶ
- 2月15～19日 ユニセフパネル展 (盛岡)
- 2月17日(水) NPO活動交流センター懇談会
- 2月19日(金) 全国地域組織事務局長会議(オンライン会議)
- 2月26日(金) 感謝状贈呈(兼田様へ)
- 3月1日(月) 第2回運営会議
- 3月6日(土) 募金贈呈式(盛岡レオクラブより)
- 3月10日(水) 募金贈呈(盛岡市立松園中学校より)



- 3月18～22日 ユニセフパネル展 (花巻)
- 3月27日(土) 設立20周年記念「安田菜津紀さん講演会」
- 4月15日(木) 花巻友の会運営会議
- 4月26日(月) 第3回運営会議
- 4月27日(火) 第1回理事会・評議員会
- 5月10日(月) いわて生協ユニセフくらぶ
- 5月16日(日) 第10回ユニセフ・ラブウォーク **中止**
- 5月27日(木) 感謝状贈呈(道尻様へ)
- 6月2日(水) 「千体仏」募金者来所  
オンライン現地視察ツアー研修
- 6月10日(木) 花巻友の会運営会議
- 6月23日(水) 第4回運営会議  
オンライン学習講師研修会
- 7月17日(土) いわて生協にのへこぼ親子企画
- 7月18日(日) ユニセフ・シアター「ラジオ・コバニ」上映
- 8月6日(金) 高校生にユニセフ講座(1名来所)
- 8月19日(木) 花巻市福祉ボランティア広場に出展 **中止**
- 8月23日(月) 第5回運営会議 **中止** (アイーナ利用中止のため)
- 8月24日(火) オンライン研修「タンザニア事務所インターン報告」
- 9月16日(木) 花巻友の会運営会議 **中止**  
オンライン研修「マラウイ事務所報告」
- 9月21日(火) 緊急募金活動
- 10月14日(木) 花巻友の会運営会議
- 10月18日(月) 第6回運営会議  
ボランティア研修
- 10月27日(水) 盛岡市立上田小学校 出前講座
- 10月28日(木) 第2回理事会
- 10月29日(金) 金ヶ崎町立永岡小学校出前講座
- 11月 募金箱回収
- 11月4日(木) 日本生協連 ユニセフ活動交流会 オンライン会議
- 12月10日(木) 花巻友の会運営会議
- 12月20日(月) 第8回運営会議



## 岩手県ユニセフ協会収支決算(2021年9月30日現在)

### 収入の部

- (1) 日本ユニセフ協会との協力協定および協力協定細則に基づき、運営仮受金 702,000 円、地域普及仮受金 2,670,000 円です。今年は、設立 20 周年記念の特別事業仮受金 500,000 円も加算されました。

### 支出の部

#### (1) 事業費

- ① 催事費はユニセフパネル展、ユニセフ・シアター上映などの経費です。
- ② 資料制作費は岩手県協会ニュース、イベントチラシの作成費です。
- ③ 通信運搬費は賛助会員・協力者へのお知らせや、学校・団体への視聴覚教材・資料等の送付にともなう郵便代・宅配便代・切手代、電話代などです。
- ④ 消耗品費は、広報活動にかかわる封筒・文具等の購入によるものです。
- ⑤ ボランティア費は、ボランティアの啓発・募金活動を行う際にかかる保険・交通費などです。
- ⑥ 特別事業費は、20 周年記念事業の経費です。

#### (2) 運営費

- ① 会議費は、理事会・評議員会、運営会議の会場費などです。
- ② 通信運搬費は、会議にともなう切手代、ホームページ経費などです。  
会議やイベントが中止となったため、通信費が増加しました。
- ③ 消耗品費は、封筒・文具等の購入によるものです。
- ④ 印刷製本費は会議資料作成費です。
- ⑤ 次期繰越金について、日本ユニセフ協会との取り決めにより、返却予定です。

## 第2号議案 2022年度事業計画、収支予算(案)の件

岩手県ユニセフ協会は(公財)日本ユニセフ協会の全国26地域組織のひとつです。日本ユニセフ協会との「協力協定」のもと、岩手県内において唯一のユニセフ組織として、募金活動、広報活動、「子どもの権利」の実現を目的としたアドボカシー(政策提言)活動を日本ユニセフ協会と連携し、すすめていきます。

『持続可能な開発目標 SDGs』は、2016年から2030年の15年間に国際社会が取り組むべき17の目標が掲げられています。「先進国も達成に努めるべき世界共通の目標」「私たちの世界をよりよくするためのみんなの目標」です。子どもの権利をまもるためにユニセフとともに考え、広範な人達と実施していくことが大切になっています。

また、新型コロナウイルス感染症は、子どもたちに深刻な健康被害や栄養不良、教育にも影響をもたらしています。一人でも多くの幼い命をこの危機から守る取り組みを諸団体と提携し、ユニセフ活動がもっと身近なものとして感じられ、参加できるような活動を広めていきます。

### 1. 募金活動と会員の拡大に取り組みます。

(1) 一般募金の理解を広げ募金に取り組みます。

① 広く県民、団体、企業に、ユニセフ活動を普及し募金協力を広げます。

- ・各生協での、ユニセフファミリー募金、お年玉募金、指定募金(東ティモール)の支援をします。
- ・この間、ユニセフ募金に取り組んでいただいている企業・団体に、資料等を提供し引き続き取り組みを呼びかけます。

② 学校募金活動を広げます。

- ・学校への資料提供、ユニセフ出前講座の講師派遣をします。
- ・ユニセフハンド・イン・ハンド(全国一斉街頭募金11~12月 花巻市、盛岡市、宮古市)などで募金活動を呼びかけます。

③ 外国コイン募金、古切手、書き損じハガキの回収の呼びかけをします。

(2) 日本ユニセフ協会からの呼びかけによる「緊急募金」に取り組みます。

人道危機緊急募金、シリア緊急募金、アフリカ栄養危機緊急募金、ロヒンギャ難民緊急募金、自然災害緊急募金、コロナ緊急募金。

(3) 他団体との提携します。

(4) 県内に友の会の組織作りをします。

(5) ユニセフ募金箱設置協力を呼びかけます。

(6) 賛助会員として、ユニセフ活動を応援する会員拡大は、200人を超える会員になるよう取り組みます。募金額は1,000万円をめざします。

### 2. 広報活動・開発教育に取り組みます。

(1) 広報活動

① ユニセフ視聴覚ライブラリーの貸し出しをします。

② 日本ユニセフ協会発行の資料をお知らせし、活用します。



- ③ ユニセフパネル展・ユニセフ・シアター等を通して、世界の子どもたちの現状を伝え、ユニセフへの理解と支援を広めます。
- ④ 岩手県ユニセフ協会ニュースを年3回発行します。
- ⑤ ホームページを充実させます。

## (2) 開発活動

- ① 学校や団体の要請に応え、「ユニセフと地球のともだち」や「SDGs」を気軽に学習できるユニセフ出前講座を実施します。
- ② 「世界の子どもたちの現状と子どもの権利条約」を学び、ボランティア活動をすすめるためのユニセフ講座を開催します。
- ③ 学生ボランティアの運営参加と場づくりに積極的に取り組みます。

## 3. 第12回いわてユニセフ・ラブウォーク in いわて

思い思いのペースで歩いた汗が、ユニセフを通じて開発途上国の子どもたちに役立てられるユニセフ・ラブウォーク。参加費は世界の子どもたちへのユニセフ募金とします。

日 時： 2022年5月15日（日）予定

会 場： 盛岡城跡公園広場

コース： 5km、10km

参加費： 大人500円・子ども（18歳未満）200円（共にユニセフ募金、保険の費用を含む）

共 催： 岩手県ウォーキング協会、盛岡市ウォーキング協会

## 4. ユニセフ・シアター

毎回好評のユニセフ・シアターを開催します。ユニセフ・パネル展も同時開催します。

### 『バレンタイン一揆』

日本の女の子3人が、アフリカのガーナで出会った現実、たくさんの子どもたちがカカオ農園で働かされ、学校に通うこともできない「児童労働」でした。バレンタインデーに、フェアトレードで作られたチョコレートを選んでほしい、そんな想いを胸に動き出す日本の女の子たちの物語です。

日 時：2022年7月16日（土）

会 場：岩手教育会館 多目的ホール

\*ユニセフパネル展を同会場ギャラリーで同時開催します。

## 5. ユニセフパネル展

・パネル展は、ユニセフ・シアターに合わせて同時期に同会場で開催します。

期 間：2022年7月16（土）～22日（金）

会 場：岩手教育会館 ふれあいギャラリー

・いわて生協の店舗の催事コーナーでのパネル展・ポスター展に取り組みます。

岩手県ユニセフ協会の運営

(1) 理事会 年2回 4月、10月 評議員会 年1回 4月

(2) 運営会議 年間 8回

## 第3号議案

## 岩手県ユニセフ協会 役員に関する件

2021年10月現在(敬称略 50音順)

役 職	お 名 前	役 職 名
顧 問	達 増 拓 也	岩手県知事
顧 問	村 田 源一朗	(株) 岩手日報社顧問
顧 問	三 浦 宏	(株) 岩手日報社相談役
会 長	東 根 千万億	(株) 岩手日報社代表取締役社長
副 会 長	飯 塚 明 彦	岩手県生活協同組合連合会会長理事
	小 川 智	岩手大学学長
専務理事	石 橋 百合子	いわて生活協同組合副理事長
常務理事	安 藤 厚	元岩手県教育委員長
	川 村 元	岩手県学校生活協同組合専務理事
	佐 藤 愛 理	いわて生活協同組合常務理事
	林 正 文	岩手県ユニセフ協会花巻友の会会長
	守 谷 祐 志	日赤岩手県支部有功会連合会会長
	吉 田 敏 恵	岩手県生活協同組合連合会専務理事
理 事	○岩 舘 智 子	(社) 岩手県PTA連合会会長
	岩 間 由記子	立正佼成会東日本教区奥羽支教区盛岡教会会長
	小 川 彰	岩手医科大学理事長
	小野寺 哲 男	岩手県中学校長会常任理事
	小 原 紀 彰	(社) 岩手県医師会会長
	鎌 田 英 樹	(株) IBC岩手放送代表取締役社長
	樞 野 信 治	(株) テレビ岩手代表取締役社長
	金田一 文 紀	岩手県教職員組合中央執行委員長
	齋 藤 秋 水	(株) 岩手めんこいテレビ代表取締役社長
	猿 子 恵 久	岩手県町村会雫石町長
	柴 崎 一 恵	もりおか女性の会会長
	瀬 川 愛 子	NPO法人岩手県地域婦人団体協議会会長
	高 橋 ト シ	岩手県ユニセフ協会花巻友の会
	○田 中 健太郎	NHK盛岡放送局局長
	谷 藤 裕 明	岩手県市長会会長
	畠 山 大	(株) 岩手朝日テレビ代表取締役社長
	増 子 義 孝	岩手県立大学名誉教授
	和 田 英	岩手県小学校長会常任理事
監 事	磯 田 朋 子	岩手県消費者団体連絡協議会事務局長
	沼 田 聡	岩手県学校生活協同組合常務理事

評議員	○梅津久仁宏	岩手県高等学校長協会会長
	小田島順造	岩手県私学協会会長
	小野寺敬作	岩手県農業協同組合中央会代表理事会長
	川村宗生	(株)川徳代表取締役社長
	菊池真弓	ガールスカウト岩手県連盟長
	小苺米葉子	盛岡ゾンタクラブ会長
	古武みどり	国際ソロプチミスト盛岡会長
	金野耕治	岩手県労働組合連合会議長
	佐々木秀市	岩手県高等学校教職員組合執行委員長
	佐藤伸一	日本労働組合総連合会岩手県連合会事務局長
	高橋克彦	作家
	高橋富一	岩手県商工会連合会会長
	千葉仁一	岩手県市町村教育委員会協議会教育長部会長
	智田恵子	盛岡パイロットクラブ会長
	○樋下光	盛岡ライオンズクラブ会長
	長山洋	(社)岩手県社会福祉協議会会長
	○野田喜代志	(株)エフエム岩手代表取締役社長
	松田恵美子	岩手県青年団体協議会会長
	宮野裕子	(株)盛岡タイムス社代表取締役社長
	向井田敏宏	日本ボーイスカウト岩手連盟事務局長
○八重樫利久	(公社)日本青年会議所東北地区岩手ブロック協議会会長	
吉田美映	いわて生活協同組合理事	
事務局長	反町久美	

\*○印は、前回から変更のあった方。